

TOKYOINK NEWS

No.15

東京インキニュース
2013.3

当社の製品群は「安心・安全」「防災・復旧」「環境・エコ」をコンセプトに開発を推進しています。

代理店通信 5  群馬県

今回はテラセルの販売にご協力頂いている、「株式会社ヒロタ」様からのご意見やご感想を紹介します。

群馬に根付く「テラセル」工法

テラセル® 擁壁工法

株式会社ヒロタ 建材事業部 土木担当一同

株式会社 ヒロタ ホームページ
<http://www.hirota-group.co.jp/>

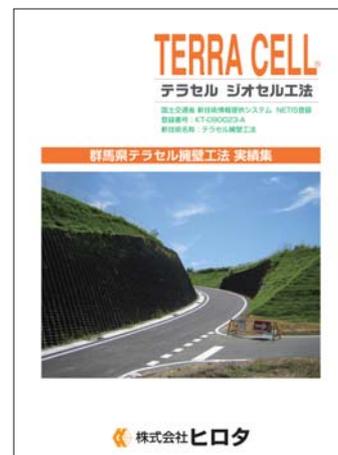
私たちが仕事場に行っている群馬県は、観光県として上毛三山（赤城山・榛名山・妙義山）や利根川の源流、そして草津温泉をはじめとする温泉地域、そうした豊かな自然を有する土地柄のため自然環境に配慮した公共工事が盛んなところです。

そのような環境下のため、県内では盛土部の工事で緑化工法であるジオテキスタイル補強土壁工法が早くから採用され、テナー補強土壁を営業開始したのは20年ほど前のことでしょうか。その当時から切土部で何か緑化ができる擁壁工法はできないものかと、東京インキ(株)の担当者に幾度となく相談したのを思い出します。

そして現在、切土部の法面保護工法として紹介を受けたテラセル擁壁工法はコンクリートを使用せずブロック積みでの代わりにもなり、砕石と現地発生土を使用でき、しかも緑化もできるという工法です。早速、東京インキ(株)の担当者へ依頼しテラセル工法の勉強会を実施してもらい県内の官庁・コンサル・ゼネコンへPRしました。まだ新工法であるにもかかわらず、皆様にテラセルの良さをわかっていただき、ハツ場ダムの関連工事を始めとし、法面の災害復旧、温泉地帯での酸性土壌対策工事など県内で多くの公共工事で採用していただきました。今では県内での実績は数十か所にのぼりテラセル実績集を作ることができるほどになりました。観光県である群馬県にテラセルを広めることで、自然に配慮した環境作りに貢献できていることを誇りに思います。そして今後、環境対策に加え防災、減災、復旧、メンテナンスを重視した公共工事への採用へ向け営業展開を継続し、新工法の普及にも努めていきたいと思えます。



左 佐藤常務、右 廣田課長



群馬県テラセル実績集を作成し
 拡販に努めています。



1



2

1

- 施工場所：群馬県吾妻郡東吾妻町
- 壁面勾配：1：0.6～1.2
- 壁 高：H=7.3m
- 壁 面積：960㎡

2

- 工事名：村道 戸室北之谷線
- 施 主：高山村役場
- 施工場所：群馬県吾妻郡高山村
- 壁面勾配：1：0.5
- 壁 高：H=7.65m
- 壁 面積：290㎡

災害復旧でテラセル擁壁工法を活用して

テラセル® 擁壁工法

株式会社村山土建 阿部 浩之、酒井 一久、渡部 稔

株式会社 村山土建 ホームページ
<http://www.murayamadoken.com/>

新潟県南部に位置する人口約5万7千人の十日町市は、周囲に山々が連なり中央部は信濃川が流れる自然に恵まれた環境にあります。冬には3m以上の積雪がある豪雪地帯であり、魚沼産コシヒカリの産地でもあるこの豊かな地に村山土建の本社はあります。一昨年の平成23年7月26日から30日にかけて、新潟県及び福島県会津地区を襲った豪雨により、県内6河川が破堤するなど土砂災害が発生しました。米どころでもある新潟県の農地・農業用施設は、21市町村あわせて15,240箇所にとびつた被害を受け、早期復旧を図るべく、8月19日の閣議にて激甚災害に指定されました。これにより当社も農災において膨大な箇所の復旧を担う事となりました。

災害場所は狭小地が多く、悪天候時には作業足場も悪くなる程の軟弱地帯の中で、復旧工法の一つである間知ブロック積み膨大に行う箇所（壁面積で3,000㎡程度）がありました。実際には、そのような現場へブロック・生コンクリートなどの材料搬入は困難であり、復旧の目途が立てられるような状況ではありませんでした。

そこに、ブロック積み代替工法であるテラセル擁壁工法が登場しました。

材料は軽量でコンパクトなため狭小地への搬入も容易であり、コンクリートを使用しないことにより養生期間もいらず、施工速度も速い。すべて人力施工で特殊作業もなく、大型機械を使用せず安全面にも配慮できる。まさに災害復旧工法における救世的な工法でした。



左から 阿部さん、酒井さん、渡部さん

箇所数をこなす工法に慣れる頃には、壁面積で100㎡以上あっても乗り込みから撤退まで1週間たらずで施工を完了し、復旧の目途が立てられるようになりました。

この復旧において、相当数のテラセル擁壁工法を施工した事で、当社もテラセル擁壁工法の施工はエキスパートになれたと自負しております。現場からの意見としては、テラセル1段の高さ、端部処理、屈曲部処理に改良と工夫を加えて頂ければ作業の効率が更に上がるのではないかと推察します。

今後、更なるテラセル擁壁工の飛躍に期待し、進化したテラセル擁壁工法を再び施工出来る事を楽しみにしています。

最後に、村山土建は皆様の未来が笑顔で満ち溢れ、安心・安全に生活できるように、日々努力していきます。



 **東京インキ株式会社**
TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.
<http://www.tokyoink.co.jp>

本社	〒114-0002 東京都北区王子1-12-4	TEL.03-5902-7627
生産技術部	〒114-0002 東京都北区王子1-12-4	TEL.03-5902-7628
札幌営業所	〒065-0020 札幌市東区北二十条東18-2-1	TEL.011-784-7772
仙台営業所	〒980-0801 仙台市青葉区木町通2-1-18	TEL.022-274-3531
新潟営業所	〒950-0087 新潟市中央区東大通1-2-25	TEL.025-245-3141
名古屋支店	〒452-0813 名古屋市中区赤城町112	TEL.052-503-3721
大阪支店	〒543-0013 大阪市天王寺区玉造本町1-28	TEL.06-6761-0077
広島営業所	〒738-0023 広島県廿日市市下平良1-5-13	TEL.0829-34-4100
福岡支店	〒816-0912 福岡県大野城市御笠川3-13-5	TEL.092-503-8979